

図書館からのお知らせ



夏休み期間は毎日開館しています。



春日井市図書館は夏休みの7月19日～8月31日までの間、
月曜日も開館しています。ぜひご利用ください。

※グループふじとう図書館、各公民館・ふれあいセンター・グリーンパレス春日井図書室は通常どおりの開館です。各館・各室の開館状況は開館カレンダー等をご覧ください。

課題図書の利用について

「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書の利用について、多くの方に利用していただくため、小中学校の部の課題図書の貸出期間等を次のとおり変更しています。
ご理解、ご協力をお願いいたします。

※高等学校の部の課題図書は、通常の貸出し期間です。



- ① 課題図書の貸出は1枚の利用者カードにつき1冊です。
- ② 貸出期間は8日間です。延長はできません。
- ③ 課題図書の予約は1枚の利用者カードにつき1冊です。なお、課題図書を借りている間でも、他の課題図書の予約が1冊まで可能です。予約は窓口のみで受付します。

休館します

蔵書点検のため全館・全室で休館します

令和7年10月14日(火)～10月22日(水)まで

また、9月24日(水)～10月22日(水)は閉架書庫の閲覧・貸出を停止します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

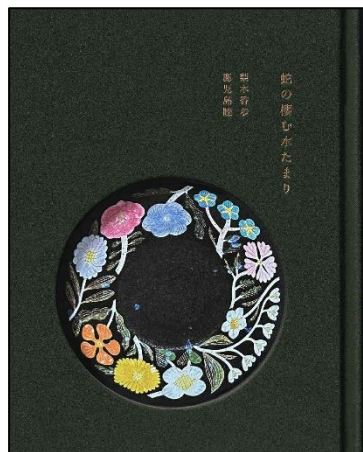
開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）



おすすめ本紹介 装丁



本の「装丁」という言葉を聞いたことがありますか？装丁とは、本を綴じて表紙などを付ける作業で、表紙やカバーなどの本の外側のデザインのことも指します。素敵なデザインの本を見つけると、その本を読んでみたくなりませんか？今回は、印象的な装丁の本をご紹介します。



『蛇の棲む水たまり』

梨木 香歩/文 鹿児島 睦/器 ブルーシープ 726.6/へ/23

作家・梨木香歩さんが、陶芸家・鹿児島睦さんの展覧会の開催に合わせてお話をつくってほしいと依頼され、生まれた作品です。丸い窓がある表紙が、とても印象的な一冊です。

鹿児島さんの美しい作品と梨木果歩さんの紡ぎだす言葉が、不思議な世界観を醸し出しています。

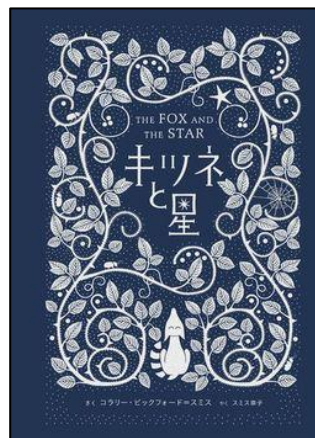
『キツネと星』

コラリー・ビックフォード＝スミス/さく スミス 幸子/やく

アノニマ・スタジオ 726.6/キ/19

森の奥に一人ぼっちで住んでいるキツネ。唯一の友達は、空に輝く一つの星です。ある夜、星が突然いなくなってしまう、キツネは勇気を出して探しに行きます。友達との別れから始まる、心あたまるお話です。

紺色の地に白色のデザインが、とてもおしゃれな一冊です。装丁だけでなく、絵やレイアウトも印象的です。デザイナーである作者のこだわりが詰まった、大人向けの絵本です。



『白の図鑑』

橋本 実千代/監修 ミオブックス 757.3/シ/24

“白”は色の中では一番シンプルですが、本当にいろいろな白があるのです。今、人気者のシマエナガや、雪や雲を思い浮かべる方もいるかもしれませんね。

この本は、最初から最後のページまで白色づくしです。白にまつわることわざや俳句、映画や絵画なども掲載されています。思い切り白の世界を堪能して、お気に入りの白を見つけてみてください。

文庫本ほどの小さな本で、レース調の表紙がきれいで素敵な一冊です。



おすすめ本紹介

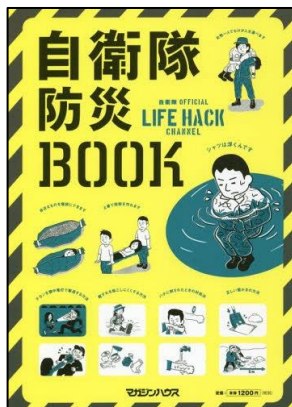
防災



皆さんは災害時の備えをしていますか？ 最近の気候は、なんだかおかしいと感じませんか？

夏は 40℃ を超える暑さになり、熱中症で多くの人が救急車で運ばれたり、大雨が降って川が溢れ、橋や家、人までが流されてしまったり、ゲリラ豪雨やひょうが降ることも増えました。

いざというときに何をしたらいいのか考えてみましょう。



『自衛隊防災 BOOK』

マガジンハウス/編集 マガジンハウス 369.3/シ/18

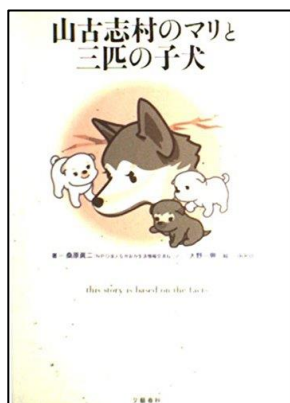
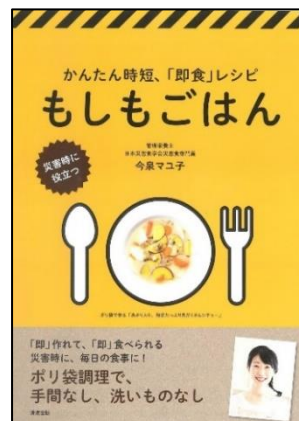
災害や事故がおきた直後は防災意識が高まりますが、時間が経つとどうしても危機感から遠ざかってしまいます。この本は、自衛隊がさまざまな災害派遣から学んだ知識を、イラストや写真を使って分かりやすく紹介しています。

自衛隊の準備体操“自衛隊体操”は、毎日の運動不足の解消にもなります。

『もしもごはん』

今泉 マユ子/著 清流出版 369.3/モ/16

普段の生活でも悩んでしまう献立ですが、電気が使えない、ガスが使えない、水道が使えない、まな板も包丁も使えない、そんな時のために…。ポリ袋で混ぜるだけの即食レシピや、カセットコンロを使った光熱費節約のレシピ、一つの鍋で味の違う複数の料理の作り方などを紹介しています。カンパンを使ったピザやかりんとうがとても美味しそうです。



『山古志村のマリと三匹の子犬』

桑原 真二、大野 一興/著 ikko/絵 文藝春秋 916/ヤ/05

2004年10月23日に山古志村を襲った新潟中越地震。マグニチュード6.8の中、何度も繰り返す強い揺れで崩れていく家の2階で、タンスの下敷きになったおじいさん（飼い主のお父さん）と、地震当日に生まれた目も見えていない3匹の子犬を強い余震から守ったマリ（犬）。人とペットは一緒には避難できず、マリ達は飼い主を16日間待ち続けました。強くて愛情深いマリに勇気をもらえる一冊です。絵もとても素敵です。



あらゆるものが持つ「名前」。想像力ゆたかな美しい名前、その特徴をあらわした名前、いろんな名前の本を集めてみました。



『空と氷と花の名前』

北山 建徳/著 みらいパブリッシング 814/ソ/24 (高蔵寺)

空、雪、氷、花、鳥にまつわる名前を、美しい写真とあわせて紹介しています。風待草、霹靂神（はたたがみ）、狐の松明…これらはみなさんがよく知る植物や自然現象の別名です。うつろいゆく季節の情景とともに、日本の美しい言葉を堪能できる一冊です。

『わけあってこの名前』

いずもり・よう/著 アマナ/ネイチャー&サイエンス/編 竹書房
480.3/ワ/19

私たちの周りにいるさまざまな生き物。その中で和名を持つ生きものは、カタカナで表記されますが、実は漢字があてはめられています。長すぎて読みにくい「コシラヒゲカンムリアマツバメ（小白髭冠雨燕）」、外国語のような名前の「デメニギス（出目似鱈）」など、漢字にすることでその特徴を読み解くことができます。イラストもポップでかわいらしく、親子で楽しめる本です。



『アレ何？ 大事典』

佐々木 正孝/著 篠崎 晃一/監修 小学館 049/ア/05

ラーメン丼のふちの赤い模様、魚の形の醤油入れ……名前はあろうけれど、特に気にしたことのないアレの名前。ハンコの持ち手のくぼんだところ、足の親指と人差し指の間にも名前があるなんて驚きです。知らなくても困らないけれど、知っている则ちちょっと楽しい、好奇心が満たされる一冊です。